

熊本県立荒尾支援学校進路便り NO. 11

わーく&らいふ

平成29年2月 日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

- ★トピック 本県の新たな取組～熊本県特別支援学校技能検定～
- ★トピック 同窓会（たけの子会）「成人の集い」
- ★進路便りに関する保護者評価アンケート 結果報告③

★トピック 本県の新たな取組

熊本県特別支援学校（清掃）技能検定

■技能検定とは

熊本県では本年度より、特別支援学校における職業教育の充実をめざし「特別支援学校技能検定」を始めました。

清掃は障がい者の職域として有望だけでなく、社会人として重要な素養である「4S（整理、整頓、清潔、清掃）」のひとつです。これを業界（一般社団法人熊本県ビルメンテナンス協会）の監修によりプログラム化し、各学校が徹底して技術の習得に取り組んでいます。

技能検定の種目は、台ふき、自在ぼうき、ダスタークロス、濡れモップの4種目で、技術の習熟度を、ビルメンテナンス協会の専門家が10段階に判定し認定証が発行されます。

■ぴりっとした空気の中で

県内10校から90人ほどの生徒が検定を受けました。本校からは作業学習「総合サービス班」の3年生が4種目に8名出場し、日頃の練習の成果を存分に発揮してきました。

検定会場は静寂の中、清掃用具の音や、競技者が発する確認の音が響くものの、張り詰めた空気感がありました。このような中本校の生徒たちも臆することなく、凛とした立ち居振る舞いで非常に立派でした。



「専門家が厳しくチェック」



「準備できました。」

もとより就職をめざすということは、厳しい道に自分の身を置く「覚悟」が重要です。厳しさを乗り越えてはじめて、自分の夢へつながる道がある、そのようなことをきっと生徒たちは体感してきたものと思います。

■期待したい「あこがれ効果」

学校は節目が近づき、先輩から後輩に向け役割を受け継ぐ時期になりました。

ここで大切にしたいのは「あこがれ効果」です。先輩のようにになりたいと願う気持ちの世代を超えた連続性が、学校という場の良さであり、言い換えるとそれが「伝統」と呼ばれるものです。高等部の後輩たちには、先輩の姿にあこがれ、厳しくとも負けずに立ち向かう姿勢を目標にして、学んでいてほしいと思います。

小中学部の子どもたちには、4Sの入り口として、当たり前のように身の回りをきれいにしておく習慣（整理・整頓・清潔）や、身近な道具（ぞうきんなど）の使い方に慣れておくとうれしいと思います。



「県教育委員会特別支援教育課長から記録証受領」

★トピック 同窓会（たけの子会）「成人の集い」



■ご成人おめでとうございます。みなさんに「幸あれ！」

1月29日（日）、本校におきまして、同窓会（たけの子会）「成人の集い」が開催され、成人を迎えた同窓生全員が集いたくさんの祝福を受けました。

この日は二部構成で式が執り行われ、小学部・中学部時代の恩師も駆けつけ、お一人お一人からメッセージを頂戴するなど、これまで積み重ねてこら

れた「ご縁」の温かさに、会場一同深く感激いたしました。

また、親子共に友情の厚い同級生達で、新成人自ら「ダンスタイム」を楽しまれたり、保護者が企画しての昼食会までありました。

また、式後に行われた昼食会では、卒業担任が一日限りのフォーク・ユニットを組み、お祝いのメッセージソングを披露し、会場は温かい空気に包まれました。



■20年間の歩みに敬意を込めて

本校卒業生は地元の成人式には出席しない方が多く、大多数にとってはこの「成人の集い」が「成人式」を意味します。ですから運営に協力する私たち学校も、この晴れの舞台を心地よいものにすべく「一期一会」の精神を大切に、全職員が真心込めて環境美化や式場設営、駐車場誘導等々、裏方に当たらせていただきました。

20年間の命と成長を支えて来られた保護者の皆様のご苦労や喜びを参会者一同が共有し、新成人の皆さんのこれからの活躍と幸せを、心より祈念した一日でした。



進路便りに関する保護者評価アンケート 結果報告③

結果報告最終回は、今後の記事の内容に関するご要望を特集します。早速ご要望にお応えして第9号では「A型B型の違い」を特集するなど、タイムリーに反映させていただいております。なお、今後の改善策として考えられる方策にも触れておりますので併せてお読みください。



「わーく&らいふで、今後取り上げてほしい内容はありますか？」

1 福祉サービスに関する事

＜サービス類型・事業所情報、障がい支援区分について知りたい＞

【改善の志向】

進路だより等の日常的情報提供はもちろん、PTAと進路指導部が連携して、各学部の段階に応じた「進路研修」等の行事を立案・実施することが望まれます。

2 実際の進路先について

＜進路先、実習した職業名、重度の子どもたちの進路について知りたい＞

【改善の志向】

現場実習や職場体験学習の実際は引き続きお伝えして参ります。
また、恒例のハートフルシンポジウム（7月）や、現場実習報告会には是非とも足をお運びいただき、生徒の発表を通じて生の情報を収集していただくことがとても効果的だと思います。

3 卒業生の事例について

＜卒業生の事例、就労後の良かった点、続かなかった理由等知りたい＞

【改善の志向】

個人情報を含む内容に配慮が必要であるため、個別な事案ではなく全般的な傾向として、これからもお伝えしていきたいと思います。
またご本人やご家族の承認が得られれば、活躍する卒業生紹介記事は可能かと思えます。

4 先輩保護者の取組について

＜家庭で「はたらく」準備に向けてどのように取組始めたのか知りたい＞

＜失敗談・成功談、どんな目標、夢をもって過ごされていたかなど知りたい＞

【改善の志向】

早速本年度「わーく&らいふ」最終号で、本年度卒業生保護者の声を掲載すべく準備中です。ご期待ください。

＜編集後記＞

高等部では今、三者面談の真っ最中です。

3年生の三者面談は、卒業の節目に当たり、親や生徒が感じている将来への夢や希望、不安な点をじっくり意見交換し、どのように進路先へ支援を引き継いでいくかが重要なねらいです。考えてみると、本校のハートフルプランづくりもやはり「夢」や「希望」から出発する点で同じで、「夢」は力を創り出すものです。「夢」をたくさんの人たちで共有していく営み、大切にしたいものです。（谷口）

